

# TIESV8のインストール方法

## 目次

・TIES V8のインストール方法について	… P.2
・TIES V8のインストール	… P.3～11
・TIES V8 Cronの設定	… P.12
・TIES機能モジュールのインストール方法について	… P.13
・TIES機能モジュールのインストール	… P.14～15
・NFSの設定	… P.16～18
・CentOS6環境構築手順	… P.19～22

発行:NPO法人CCC-TIES



This work is licensed under a [Creative Commons Attribution 3.0 Unported License](https://creativecommons.org/licenses/by/3.0/).

# TIES V8のインストール方法について

- TIES V8(Moodle2.7+)のインストールの方法を説明します  
※ CentOS6(PHP5.3及びmysql5.1)の環境であれば、「[CentOS6環境構築手順](#)」をご参照ください。
- 事前準備
  - TIES V8の入手
  - TIES V8をサーバーにアップロード
  - DBの作成
- インストール作業では以下の設定・処理を行います
  1. 言語設定
  2. DBの設定
  3. サーバーのチェック
  4. テーブルの作成
  5. サイト設定
- メール配信用のCronの設定
- Moodleが提供するサーバーのインストール方法については以下を参照ください
  - <http://docs.moodle.org/2x/ja/Moodle%E3%82%92%E3%82%A4%E3%83%B3%E3%82%B9%E3%83%88%E3%83%BC%E3%83%AB%E3%81%99%E3%82%8B>

- アップロードしたTIES V8にアクセスします
- 使用する言語を選択します
  - 本資料では日本語を選択した場合の画面を使用しています
  - どの言語でも操作の流れは同じになります

## Installation

Language

### Choose a language

Please choose a language for the installation. This language will also be used as the default language for the site, though it may be changed later.

Language

言語を選択します

Next »



- Moodleのデータディレクトリを設定します
  - 書き込み権限が必要です
  - Webに公開しているディレクトリを指定しないようにしてください
- ウェブアドレス・Moodleディレクトリ・データディレクトリは初期値が設定されています
  - 画像はセキュリティ上の都合で、非表示としています

## インストール

パス

パスを確認する

**ウェブアドレス**  
Moodle1にアクセスすることのできるフルウェブアドレスです。複数アドレスを使用して、Moodle1にアクセスすることはできません。あなたのサイトに複数のパブリックアドレスがある場合、このアドレスを除く、すべてのアドレスにパーマネントリダイレクトを設定してください。あなたのサイトにイントラネットおよびインターネットからアクセスできる場合、ここにはパブリックアドレスを入力してください。また、イントラネットユーザもパブリックアドレスを利用できるよう、DNSを設定してください。アドレスが正しくない場合、あなたのブラウザのURLを変更して、異なる値でインストールを再開してください。

**Moodleディレクトリ**  
Moodleコードを含むディレクトリに関するフルパスです。

**データディレクトリ**  
あなたには、Moodleがファイルをアップロードすることのできる場所が必要です。このディレクトリは、ウェブサーバユーザ(通常「nobody」または「apache」)から読み込みおよび「書き込み」できる必要があります。しかし、ウェブからは直接アクセスできないようにしてください。データディレクトリがない場合、インストーラーは作成を試みます。

ウェブアドレス

Moodleディレクトリ

データディレクトリ

« 前へ 次へ »

moodle

Moodleのデータディレクトリを入力

- DBのタイプを選択してください
  - 使用する環境で利用できるものが不明な場合は管理者に連絡してください

## インストール

データベース

### データベースドライバを選択する

Moodeでは、いくつかのデータベースサーバのタイプをサポートします。どのタイプを使用するか分からない場合、サーバ管理者に連絡してください。

タイプ

« 前へ 

DBタイプを選択してください

5

- DBの接続するための情報を入力します
  - 画像は前頁にてmysqlを選択した場合の画面になります
- テーブル接頭辞及びUnixソケットは変更が不要な場合はそのまま構いません
- config.phpの内容が表示された場合は、指示に従い、Moodleディレクトリに別途 config.php ファイルを作成してください

## インストール

データベース

### データベース設定

**Improved MySQL (ネイティブ/mysqli)**

データベースにはほとんどのMoodle設定およびデータが保存され、ここで設定する必要があります。

データベース名、ユーザ名およびパスワードは必須入力フィールドです。また、テーブル接頭辞は任意です。

データベースが存在せず、あなたが指定したユーザにパーミッションがある場合、Moodleは正しいパーミッションおよび設定の新しいデータベースの作成を試みます。/p>

データベースホスト:

データベース名:

データベースユーザ:

データベースパスワード:

テーブル接頭辞:

データベースポート:

Unixソケット:

« 前へ

DBの接続情報を入力します

- 著作権に関する表示です
- 承諾しないとインストールを進めることができません

## インストレーション

### Moodle - Modular Object-Oriented Dynamic Learning Environment

#### 著作権表示

Copyright (C) 1999 onwards Martin Dougiamas (<http://moodle.com>)

This program is free software: you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation, either version 3 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

See the Moodle License information page for full details: <http://docs.moodle.org/en/License>

これらの要件を読んで理解できましたか?

続ける

キャンセル

著作権に関して承諾する場合は「続ける」を選択

# TIES V8のインストール サーバチェック

- 必要なモジュール等の設定・インストール状況のチェックを行います。
- 条件を満たしている項目は「OK」で緑色になります
- 条件を満たしていない項目は「NG」で赤色になります
- 推奨されている機能を満たしていない項目は「チェック」でオレンジ色となります。

## インストール - Moodle 2.7+ (Build: 20140522)

### Moodle 2.7+ (Build: 20140522)

このバージョンのMoodleに関する詳細情報はオンラインリソースをご覧ください。

#### サーバチェック

名称	情報	レポート	状態
php_setting	opcache.enable	① PHP設定を変更してください。 PHP OPcacheキャッシングはパフォーマンスを改善して、必要メモリを減らします。OPcache拡張モジュールは推奨および完全にサポートされます。	チェック
unicode		① 必ずインストールおよび有効化してください。	OK
database	mysql (5.5.37)	① バージョン 5.5.31 以上が必須です。あなたは現在 5.5.37 を使用しています。	OK
php		① バージョン 5.4.4 以上が必須です。あなたは現在 5.4.16 を使用しています。	OK
pcrunicode		① 最適な動作のため、インストールおよび有効化してください。	OK
php_extension	iconv	① 必ずインストールおよび有効化してください。	OK
php_extension	mbstring	① 最適な動作のため、インストールおよび有効化してください。	OK
php_extension	curl	① 必ずインストールおよび有効化してください。	OK
php_extension	openssl	① 最適な動作のため、インストールおよび有効化してください。	OK
php_extension	tokenizer	① 最適な動作のため、インストールおよび有効化してください。	OK
php_extension	xmllrpc	① 最適な動作のため、インストールおよび有効化してください。	OK
php_extension	soap	① 最適な動作のため、インストールおよび有効化してください。	OK
php_extension	ctype	① 必ずインストールおよび有効化してください。	OK
php_extension	zip	① 必ずインストールおよび有効化してください。	OK
php_extension	zlib	① 必ずインストールおよび有効化してください。	OK
php_extension	gd	① 必ずインストールおよび有効化してください。	OK
php_extension	simplexml	① 必ずインストールおよび有効化してください。	OK
php_extension	spl	① 必ずインストールおよび有効化してください。	OK
php_extension	pcr	① 必ずインストールおよび有効化してください。	OK
php_extension	dom	① 必ずインストールおよび有効化してください。	OK
php_extension	xml	① 必ずインストールおよび有効化してください。	OK
php_extension	intl	① 最適な動作のため、インストールおよび有効化してください。	OK
php_extension	json	① 必ずインストールおよび有効化してください。	OK
php_extension	hash	① 必ずインストールおよび有効化してください。	OK
php_setting	memory_limit	① 推奨設定が検出されました。	OK
php_setting	file_uploads	① 推奨設定が検出されました。	OK

必要なモジュールのインストール  
状況が表示されます

あなたのサーバ環境は、最小限の必要条件すべてに合致します。

続ける

# TIES V8のインストール テーブルの作成

- 必要テーブルの作成及びモジュールのインストールを行います
- インストールが完了すると自動的に画面下部にスクロールされます
- この工程で失敗した場合、DBを作り直し、初めからインストールを行う必要があります

The screenshot displays the installation progress for three tables. Each table has a green bar indicating '成功' (Success). A large blue arrow points from the 'availability\_completion' section down to the 'logstore\_standard' section. In the 'logstore\_standard' section, a callout box points to a '続ける' (Continue) button, which is highlighted with a red border.

## インストール

### システム

成功

---

### availability\_completion

成功



---

### logstore\_standard

成功

インストールが完了したら「続ける」ボタンを押します

続ける

- 管理者ユーザーの設定を行います
- ユーザー名はadmin以外にすることでセキュリティが向上します
- パスワードは8文字以上であり、さらに数字・大文字・小文字・非英数字をそれぞれ1文字以上含める必要があります

## インストール

このページではサイトすべてを管理できる最高管理者アカウントを作成します。正しいメールアドレスおよび安全なユーザー名、パスワードを設定してください。あなたは後でさらに管理者アカウントを作成することができます。

[▶ すべてを展開する](#)

▼ 一般

ユーザー名\*

認証方法の選択 ⓘ 手動アカウント

パスワードには、少なくとも 8 文字、少なくとも 1 個の数字、少なくとも 1 文字の小文字、少なくとも 1 文字の大文字、少なくとも 1 文字の非英数字 を入力する必要があります。

新しいパスワード\* ⓘ   マスク解除

パスワード変更を強制する ⓘ

姓\*

名\*

メールアドレス\*

メールアドレス公開  ▼

メールフォーマット  ▼

メール要約タイプ ⓘ  ▼

フォーラム自動メール購読  ▼

- サイトの名称を入力します
- ページによって長いサイト名かサイト省略名のいずれかが使用されます

## インストレーション

### 新しい設定 - フロントページ設定

長いサイト名   
fullname

サイト省略名 (例 単語)   
shortname

フロントページ概要   
summary

この概要は「コース/サイト 概要」ブロックを使用してフロントページに表示すること、またはフロントページのトピックセクションに含むことができます。

### 新しい設定 - 認証管理

自己登録  デフォルト: No  
registerauth

「Eメールによる自己登録」のような認証プラグインが選択された場合、潜在的なユーザーに対して、自分自身での登録およびユーザーアカウント作成を許可します。この場合、フォーラム投稿、ブログコメントなど、フォームを送信するユーザー登録者に対して、アカウントを作成させて、まらことにできます。このリンクを辿るには自己登録を無効にするか、「許可されるメールア

cronの設定方法について説明いたします。

この設定を行うことでフォーラム等の返信をユーザーに配信する機能が実行されます。

Moodleが提供するCronの設定方法については以下を参照ください。

<http://docs.moodle.org/2x/ja/Cron>

## ○設定方法

サーバーに接続し以下のコマンドを実行してください。

```
crontab -e
```

※コマンドの記述ミスにお気を付けください

※記述ミスをするると既存の設定が削除される可能性があります

サーバーに設定されているエディタの編集画面に変わりますので、以下の行を環境に合わせて追記してください。

※後半のhttp://moodle-url.com/を利用するMoodleのURLに変更してください

※すでに、Cronが設定されている場合がありますので、既存の設定は削除しないように注意が必要です

```
*/2 * * * * wget -q -O /dev/null http://moodle-url.com/admin/cron.php
```

この設定により、2分間隔で実行されます。

※間隔を変える場合は先頭の「\*/2」の数字を変更してください

なお、実際に動作しているかはcronのログを見て確認が可能です。

※環境によっては正常に動作していないことも考えられます。

# TIES機能モジュールのインストール方法について

- ダウンロードサイトで配布しているモジュールのインストール方法を説明します
- オールインワンパッケージをインストールした場合は、すべてのモジュールがインストール済みとなるため、以降の作業は不要となります
- インストールまで以下の流れで行います
  1. TIES機能モジュールのダウンロード
  2. FTPなどでTIES機能モジュールのアップロード
  3. TIES機能モジュールのインストール
- TIESモジュール及びTIES機能モジュールの単語の扱いは以下になります
  - TIESモジュール
    - カウントページやフォーラムへの遷移プログラムを含むモジュール
  - TIES機能モジュール
    - 2014/11/01時点では以下のモジュール(括弧内は管理上の名称)
      - mPlayer(mplayer)
      - OpenMeetings(openmeetings)
      - Shibboleth\_ties(shibboleth\_ties)

# TIES機能モジュールのインストール インストール実行

- 適切なディレクトリに展開したモジュールをアップロードすると図の画面が表示されます
- アップデート前にはDBのバックアップを必ず取得してください

**あなたの注意が必要なプラグイン数: 5**

[インストール済みプラグイン詳細リストを表示する](#)

プラグイン名	ディレクトリ	ソース	現在のバージョン	新しいバージョン	必要条件	状態
<b>活動モジュール</b>						
 メディアプレーヤー	/mod/mplayer	追加		2014102101		インストール予定
 OpenMeetings	/mod/openmeetings	追加		2014102101	• Moodle 2014051200	インストール予定
<b>認証プラグイン</b>						
Shibboleth TIES	/auth/shibboleth_ties	追加		2013070901	• Moodle 2012061700	インストール予定
<b>リポジトリ</b>						
 オープンミーティングス	/repository/openmeetings	追加		2014102301	• Moodle 2014051200 • mod_openmeetings	インストール予定
<b>ローカルプラグイン</b>						
TIES	/local/ties	追加		2014101601	• Moodle 2014051200 • mod_openmeetings	インストール予定

 リロード

**Moodleデータベースを更新する**

インストールして問題なければ  
ボタンをクリックします

- インストールを実行すると結果が表示されます

新しいバージョンへのアップグレード

**mod\_mplayer**

成功

インストールの結果が表示されます

**mod\_openmeetings**

成功

**auth\_shibboleth\_ties**

成功

**repository\_openmeetings**

成功

**local\_ties**

成功

続ける

The screenshot displays a vertical list of module names, each followed by a green bar indicating a successful installation. The first bar for 'mod\_mplayer' has a red box around the word '成功' (Success) and a callout bubble pointing to it with the text 'インストールの結果が表示されます' (Installation results are displayed). At the bottom of the list is a '続ける' (Continue) button.

## はじめに

Wowzaサーバ間とのファイル連携を行うためのインストール方法(NFSの設定)について記載しています。

## 前提条件

インストールするサーバOSは「CentOS 6.5 64bit Plain」を対象とし、パッケージ管理コマンド「yum」が使用可能、及びインストールするサーバへsshアクセスが可能な状態である事を前提として記載しています。

またインストールは管理者権限を持つユーザで作業を行う事を前提として記載しています。

なおインストールは特に注記がない限り、最新のバージョンのものをインストールします。

## 凡例

サーバOS上で実行するコマンドについては、灰色背景で表記しました。

緑色の文字は注記で、コマンドの一部ではありません。

```
$ sudo ufw enable      簡易ファイアウォール機能を有効にする
```

同様に、テキストファイル等への追記・変更については、水色背景で表記しました。

緑色の文字はコマンドと同様に、注記になります。

```
LANG="en_US.UTF-8"
```

## NFSの設定

MoodleでアップロードしたファイルをWowzaサーバからストリーミング再生できるよう、NFSの設定を行います。

```
$ yum -y install nfs-utils  
$ cp -rp /etc/exports /etc/exports.org  
$ vi /etc/exports
```

/etc/exportsの末尾に下記の行を追加します。

```
[Moodleデータディレクトリ]/filedir [WowzaサーバIP](rw,sync,no_subtree_check)
```

```
[Moodleデータディレクトリ]  
Moodleサーバのデータディレクトリ名を設定します。  
[WowzaサーバIP]  
Wowzaサーバのホスト名、またはIPアドレスを設定します。
```

変更を適用するため、下記コマンドを実行します。

```
$ service rpcbind start  
$ service nfs start  
$ exportfs -ra
```

以下、NFSで利用される各ポート番号を固定にします。

```
$ cp -rp /etc/sysconfig/nfs /etc/sysconfig/nfs.bk  
$ vi /etc/sysconfig/nfs
```

vi /etc/sysconfig/nfsを下記のように設定値を変更します。

```
RQUOTAD_PORT=50000
LOCKD_TCPSPORT=50001
LOCKD_UDPPORT=50001
MOUNTD_PORT=50002
STATD_PORT=50003
```

各種サービスの再起動、自動起動設定を行います。

```
$ service nfslock restart
$ service nfs restart
$ chkconfig rpcbind on
$ chkconfig nfs on
$ chkconfig nfslock on
```

## 使用ポート番号一覧

使用するポート番号は以下の通りです。

ポート番号	プロトコル	方向
111	TCP/UDP	IN/OUT
2049	TCP/UDP	IN/OUT
50000-50003	TCP/UDP	IN/OUT

## はじめに

本資料ではCentOS6.5(PHP5.3.3, mysql5.1)にMoodle2.7+ をインストールするために必要となる環境構築手順について記載しています。

## 前提条件

インストールするサーバOSは「CentOS 6.5」を対象とし、パッケージ管理コマンド「yum」が使用可能、及びインストールするサーバへsshアクセスが可能な状態である事を前提として記載しています。またインストールは管理者権限を持たないユーザで作業を行う事を前提として記載しています。なおインストールは特に注記がない限り、最新のバージョンのものをインストールします。

## 凡例

サーバOS上で実行するコマンドについては、灰色背景で表記しました。緑色の文字は注記で、コマンドの一部ではありません。

```
$ sudo service httpd restart
```

httpdの再起動をする

同様に、テキストファイル等への追記・変更については、水色背景で表記しました。緑色の文字はコマンドと同様に、注記になります。

```
LANG="en_US.UTF-8"
```

## Apacheのインストール

パッケージ管理システムを使用してhttpdをインストールします。

```
$ sudo yum install httpd -y
```

正常インストールできていれば、下記のようにバージョンが返されます。

```
$ httpd -v  
Server version: Apache/2.2.15 (Unix)  
Server built: Jul 23 2014 14:17:29
```

## PHP5.4, mysql5.5のインストール

### リポジトリの追加

パッケージ管理システムにリポジトリを追加します。

```
$ sudo yum install centos-release-SCL
```

## PHPのインストール

パッケージ管理システムを使用してphpをインストールします。

```
$ sudo yum install php54
```

正常インストールできていれば、下記のようにバージョンが返されます。

```
$ /opt/rh/php54/root/usr/bin/php -v  
PHP 5.4.16 (cli) (built: Dec 11 2013 16:55:27)  
Copyright (c) 1997-2013 The PHP Group  
Zend Engine v2.4.0, Copyright (c) 1998-2013 Zend Technologies
```

必要なモジュールをインストールします。

```
$ sudo yum install php54-php php54-php-mbstring php54-php-gd php54-php-imagick php54-php-mysql  
php54-php-soap php54-php-intl php54-php-xmlrpc
```

必要に応じてphp.iniの設定を変更します。

```
$ sudo vim /opt/rh/php54/root/etc/php.ini
```

既にphp5.3がインストールされている場合には、既存の設定ファイルをリネームします。  
(新規インストールの場合は下記の作業は不要です)

```
$ sudo mv /etc/httpd/conf.d/php.conf /etc/httpd/conf.d/php.conf.org
```

インストール後、httpdの再起動を行います。

```
$ sudo service httpd restart
```

## mysqlのインストール

パッケージ管理システムを使用してmysqlをインストールします。

```
$ sudo yum install mysql55-mysql-server
```

正常インストールできていれば、下記のようにバージョンが返されます。

```
$ /opt/rh/mysql55/root/usr/bin/mysql --version  
/opt/rh/mysql55/root/usr/bin/mysql Ver 14.14 Distrib 5.5.37, for  
Linux (x86_64) using readline 5
```

必要に応じてmy.cnfの設定を変更します。

```
$ sudo vim /opt/rh/mysql55/root/etc/my.cnf
```

既にmysqlがインストールされている場合には、データの移行を行います。  
(新規インストール時には下記の作業は不要です)

```
$ mysqldump -u root -p --all-databases --routines --events > ~/mysql51.dump  
$ sudo service mysqld stop  
$ service mysql55-mysqld start  
$ scl enable mysql55 'mysql' < ~/mysql51.dump  
$ scl enable mysql55 'mysql_upgrade'
```

インストール後、httpdの再起動を行います。

```
$ service mysql55-mysqld restart
```

## 自動起動の設定

OS再起動時に自動的起動を設定します。

```
$ sudo chkconfig httpd on  
$ sudo chkconfig mysql55-mysqld on
```